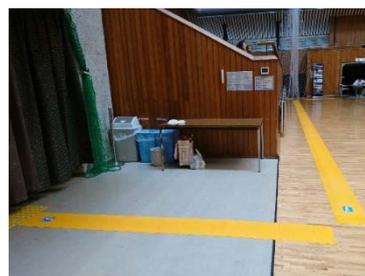


## 第28回日本ブラインドテニス大会会場にて 視覚障がい者歩行誘導ソフトマットを設置



写真① トイレへの誘導



写真② アリーナ入口から受付までの誘導

(第27回日本ブラインドテニス大会にて) (関東ブラインドテニス茨城オープン大会にて)

平成29年11月11日(土)から11月12日(日)に、埼玉県所沢市にて、第28回日本ブラインドテニス大会が開催されます。会場となる、こどもと福祉の未来館(埼玉県所沢市泉町)と所沢市民体育館(埼玉県所沢市並木)の2会場にて、視覚障がい者歩行誘導ソフトマット「歩導くん ガイドウェイ」を設置します。

錦城護謨株式会社(本社:大阪府八尾市、代表取締役社長:太田泰造)は、6月に開催された関東ブラインドテニス茨城オープン大会にて誘導マットを提供・設置。この支援実施に対し、7月にスポーツ庁長官より感謝状が授与されました。

日本のブラインドテニスは、国内にとどまらず世界でも活躍されております。5月にスペインで開催された「第1回ブラインドテニス国際トーナメント」では、世界15カ国より80名の選手が参加。出場した3クラスすべてで日本選手が1位を獲得しました。また、大会MVPにも日本選手が選ばれました。今後、益々盛り上がりを見せていく障がい者スポーツです。

### ■視覚障がい者歩行誘導ソフトマット概要

視覚障がい者歩行誘導ソフトマットは、いわゆる誘導ブロックの代替品として視覚障がい者が考案し、視覚障がい者団体協力のもと開発されたものです。全ての人の利便性に配慮した「ユニバーサルデザイン」の考えをベースにしています。白杖で叩いた時の音の違いや、足裏に伝わる質感の違いによって誘導路の位置、向きを認識することができるゴム製の屋内専用マットです。

表面の凹凸や段差がなく、中央部に向かって緩やかな傾斜となっているので、高齢者や幼児がつかまったり、ベビーカーや車いすの車輪が引っかかりを防ぎます。そのため、空港、銀行ATM、ホテルなどでの導入も進んでいます。

床や路面への設置は両面テープを使用するため、大掛かりな設置工事は不要です。取り外しも容易なので、催事などで一時的に設置することもできます。

2016年2月に、ドイツ「iFデザインアワード」の金賞を受賞。同アワードは全世界から優れたデザインを選定するもので、「プロダクト部門・公共デザインカテゴリー」で日本初の金賞を受賞しました。



### ■日本ブラインドテニス連盟について

1990年に「日本視覚ハンディキャップテニス協会」が設立。その後、ハンディキャップテニスをブラインドテニスと改称し、2009年4月より日本ブラインドテニス連盟(JBTF)として活動している。連盟の目的は、障害の有無に関係なく、共にテニスに親しみ、余暇活動の善用により社会での融和を図り、生活の質の向上に寄与すること。事業は、競技大会の開催、テニスの指導及び普及による研修会・講習会の開催、技術等の研究と開発などを行っている。組織としては、本連盟に属する協会として、北海道協会、関東地域協会、中部地域協会、近畿協会、中国地域協会があり、各協会でも活発に活動している。

### ■お問合せ先

第28回日本ブラインドテニス大会:

日本ブラインドテニス連盟 事務局長 喜多様 TEL: 090-7257-3279

製品: 錦城護謨株式会社 ホドウクン担当 TEL: 072-992-2328/FAX: 072-922-4175